



難波っ子

令和3年度 6月号
尼崎市立難波小学校
校長 難波佳代子

梅雨を楽しみ、実りの秋につなげよう！

今年は何年より3週間も早く梅雨入りし、雨の季節となりました。先日は、早朝に尼崎市に大雨警報が発令されて休校となりましたが、ご家庭でも対応していただきありがとうございました。警報など緊急時の集団下校や引き渡し訓練もコロナ禍で行うことができていませんが、いつ緊急事態が起こるか分かりません。緊急時に備えて学校でも体制を作っておりますので、ご家庭でも話し合ってみてください。梅雨の時期の始まりを「入梅」と言い、「雑節」（主に農作物に関することで日本の季節の移り変わりをよりわかりやすく表したもの）のひとつです。梅雨の時期は、外で遊べない・洗濯物が乾かない・じめじめして蒸し暑いなど嫌と感じる人もいるでしょう。しかし、梅雨の良いこともたくさんあります。①梅雨の雨量のおかげで生活に不可欠な水の確保ができる②「しとしと」という雨音のリラックス効果で心の落ち着きや集中力がアップする③雨の日の照度の減少としずくで目に入る光が優しく新緑などの色が綺麗に見える④作物の生長に不可欠である。その中でも、主食である米づくりには雨はなくてはならないものです。入梅は田植えの時期の目安であり、この時期には田に水を引く用水路は水でいっぱいになっていなくてはなりません。雨が降らないと米作りは大打撃となります。江戸時代にはこのため一揆が起こったこともありました。それほどまでに、梅雨の雨は農業には重要なものなのです。このように水が重要な米づくりも梅雨が明けると田に水が無くなることがあります。これは「中干し」といって、稲の生長には欠かせない作業です。中干しをすることで、**土や根に酸素が行き渡る・稲は水を求めて根をしっかりと張り巡らせる**。そして、再び水を田に入れたときに**しっかりと根付いて倒れない強い稲になり、養分を吸収する**。学校では「中干し」のように努力や忍耐が必要な場面がたくさんあります。努力と忍耐によって**基礎基本（酸素）を身につけしっかりと地に足を付ける（根を張り巡らせる）**ことができます。そして、**どんな困難にも負けずに向き合い粘り強く取り組む中で、知識・技能・思考力・判断力・表現力・学びに向かう力等（栄養）**を身につけ（吸収）、稲穂が実るように子どもたちは成長し豊かな学校生活を送ることにつながっていきます。いろいろな壁にぶつかったときはチャンスと捉えて、努力と忍耐で乗り越えてほしいです。

心を落ち着かせて集中して学習したり、落ち着いた休み時間の過ごし方を考えたりと梅雨の時期の学校生活について学校でも指導していきます。ご家庭でも、雨の「しとしと」を聞きながら梅雨の良さを感じる時間を作っていただくと長雨も楽しいのではないのでしょうか。合わせて、蒸し暑く季節の変わり目でもありますので、体調管理の方もよろしくお祈りします。また、新型コロナウイルス感染症対策はまだまだ続きますが、子どもたちの安心・安全を第一に考えて学校運営を行っていきます。行事など今後も変更・中止があるとは思いますが、ご理解ご協力よろしくお祈りします。